

特集

口腔ケア 在宅でここまでできる！

在宅で療養されている方の多くが、口腔状態が悪くても歯科を受診しない、もしくは受診できない状況にあります。しかし、訪問時には健康状態のチェックや医療処置、介護者からの相談・指導などに時間をとられ、口腔ケアまで手が回っていないのが現状といえます。在宅における口腔ケアの現状と課題、その打開に向けた先進的な取り組みを紹介します。

口から食べることの素晴らしさ 五島朋幸

ターミナルにある方への口腔ケアの実践 大田洋二郎

地域社会における訪問歯科衛生士の役割 栗木みゆき

認知症の人の摂食機能をどう維持するか 太田博見

■実践報告

口腔領域のがん患者の退院後の日常生活における困難を支援する 國澤千恵ほか

■特別記事

高齢期の『住まい』 井上由起子

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時事刻々 石田昌宏／在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／訪問看護普及・拡大プロジェクト 岡戸順一ほか／訪問看護による看取りの検証 菊井和子ほか／わたしのことをわたしから 内田あさみ／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／精神科医の家族論 服部祥子／広汎性発達障害の理解と援助 細川雅人／ほんとの出会い 岡田真紀／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●新連載が4本始まりました！ その1つ「訪問看護師による看取りの検証」は、前号までの連載「自宅で死んでみませんか」を受け、訪問看護師の側から書かれた在宅での看取りです。第1回は自宅で1人で亡くなっていった97歳の男性の事例について、「誰も側にいなくて孤独だったのだろうか。悲しかったのだろうか」と問いかけます。最期のときに1人はかわいそうと思うのはちょっと違うかもしれないです。……………伊藤
●同じく新連載「せんねん村村長 老いを地域で活かす」でも尊厳ある死について触れています。独居の方が増えるなか、より大きな問題となるのではないのでしょうか。また、「訪問ほっとらいん」では新型インフルエンザに関して利用者への対応・トリアージの例などを紹介していただきました。特集のテーマは療養通所介護です。横浜市のように行政の支援や医師の理解があれば、一層事業の拡大につながるように思います。……………富岡

訪問看護と介護 第14巻 第10号（通巻160号） 2009年10月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2009, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通 03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

JCOPY <（社）出版者著作権管理機構 委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX03-3513-6979, E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/09/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。